

# 夏のおてがみ 3・4年生

今年の夏休みは何をしてすごそうか？

たっぷり遊んで、ちょっとのんびりしたい日には、  
すずしいお部屋で読書を楽しもう！

海を科学するマシンたち

## しんかい6500

しんかい  
深海のひみつをさぐれ！

山本 省三／作 友永 たる／絵  
くもん出版



かいてい しらのもの  
海底を調べる乗り物のおはなしです。しんかい6500  
は、3人乗りで6500メートルもの深さを5時間くらい  
ちようさそこあつ  
調査します。海の底では、厚さが138ミリあるのぞき窓  
かんさつ  
から観察します。めずらしい生き物などは、2本のロボッ  
つかかいしゅうも  
トのうでを使って回収して、持ち帰り調べます。なぞの多  
い海の底で、こんどは何を発見するでしょうか。

## サバンナで野生動物を守る

沢田 俊子／文  
講談社

みなみ きょうわこく こくりつこうえん おおた  
南 アフリカ共和国のクルーガー国立公園で、太田ゆか  
せいふこうにん  
さんは政府公認のサファリガイドをしています。サバンナ  
かんこうきゃく あんない  
へ観光客を案内するだけでなく、インターネットを使っ  
たバーチャルサファリツアーの企画や、野生動物の調査や  
きかく やせいどうぶつ ちようさ  
ほご しごと  
保護をするレンジャーの仕事もしています。みなさんも、  
南アフリカのサバンナについて考えてみませんか。

## とことんエノコログサあそび

手先をたっぷり使う21アイデア+あそび

小松 つよし／著  
チャイルド社



エノコログサを知っていますか。道を歩いていると、おとなの指くらいの大きさの、ふわ  
ふわとした毛がついた草が生えているのを見たことがあるでしょう。その草の名前をエノコ  
ログサといいます。あのふわふわを、むすんでつなげて、いぬやねこのかたちを作ってあそ  
びましょう。ぬいぐるみみたいでかわいいですよ。

## どこを食べているの？くだもの

藤田 智／編著  
汐文社



たくさんのおいしいくだものがありますが、どこの部分ぶぶんを食べているのか考えたことはあ  
りますか？種たねまで一緒に食べているもの、種は食べられないもの、種だけ食べているもの…。  
ほかにも、くだものによって様々な違いがあります。この本を読んでもみると、くだものを食  
べるのが、もっと楽しくなるかもしれません。

## 森のなかの小さなうち



エリザ・ウィーラー／作  
ひらお ようこ／訳  
工学図書

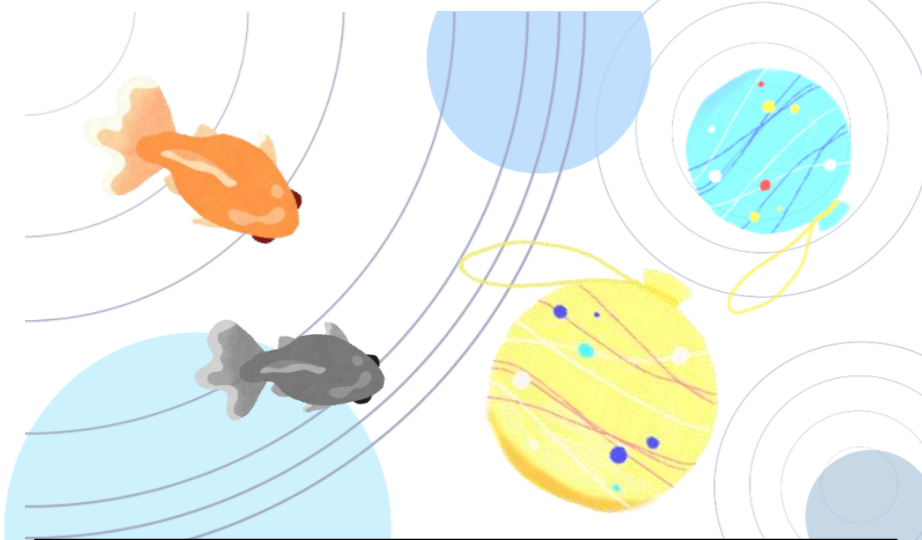
マーベルは、8人きょうだい。パパが天国に行ってし  
まったので、森のおくに見つけた小さな黒い小屋こやで、マ  
マとこどもたちで新しい生活をはじめることになりました。  
森の中で木の実をつんだり、やさいをそだてたり。  
さいしょ  
最初は、じぶんたちのおうちだなんて、ちっとも思えな  
かったその小屋が、やがてわらい声あひと愛でいっぱいになり  
ます。

## リジーと雲

テリー・ファン／作  
エリック・ファン／作  
増子 久美／訳  
化学同人



「雲うり」から、雲をかったリジー。雲は生きていて、  
おせわをしないとイケません。リジーは、雲にミロという  
名前をつけて、毎日ていねいに、しんせんなみずをかけて  
あげました。天気がいい日には、ミロもいっしょにさんぼ  
につれていきます。ミロは、小さなふうせんくらいの大き  
さから、どんどんおおきくなっていきました。



### ふしぎなメリーゴーラウンド

リーザ＝マリー・ブルーム／作  
はたさわ ゆうこ／訳 こやま こいこ／絵  
徳間書店



おじいさんのメリーゴーラウンドには、6頭の木ぼりの動物が<sup>どうぶつ</sup>ついていてます。おじいさんは毎晩、動物たちをなでて話しかけていました。ある日新しい持ち主になり、動物たちをなでてくれる人はいなくなりました。そんな時、女の子が子馬に<sup>だ</sup>抱きついて話しかけます。すると、子馬は<sup>うご</sup>動き出したのです。6頭みんなが<sup>しあわ</sup>幸せになるお話です。

### じいちゃんの島は宝島

漆原 智良／作 やまなか ももこ／絵  
フレーベル館



ぼくは<sup>ゆうと</sup>悠斗。小学四年生。今年の夏休みは、おじいちゃんが<sup>そつぎょう</sup>中学を卒業するまで住んでいた<sup>す</sup>ミドリ子島に行くことになった。今、その島は<sup>むじんとう</sup>無人島で電気も水道もない。でも、そこには宝ものがあるっておじいちゃんというんだ。おじいちゃんと二人で魚をつって、貝をとって、ほんとうの宝ものを見つける四日間のおはなし。

### フライパンで焼くだけ♪かんたん焼き菓子



<sup>どうぐ</sup>道具1つでらくらくスイーツ  
宮沢 うらら／著  
汐文社

フライパンでおいしい焼き菓子をつくってみよう。はじめにつくり方をなんども読んでしっかり手順をおぼえてね。道具は準備した？材料は正確にはかったかな？フライパンを用意して、まずはきほんのクレープを焼いてみるよ。生クリームやくだものをいれて、アレンジしたら、おうちで楽しくカフェ気分。タルトやケーキもつくってみてね。

### 日本語の数えかた図鑑

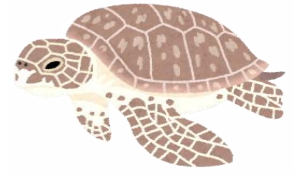
青木 伸生／監修 山本 暁子／絵  
童心社



身の回りにあるたくさんの中には、それぞれ数えかたがあります。魚は、生きているときは<sup>いっぴき</sup>一匹、<sup>さかなや</sup>魚屋さんで<sup>ひもの</sup>干物になると一枚と数えます。同じ魚でも、そのときのすがたで、たくさん数えかたがあります。書道の時に使う<sup>つか</sup>筆や<sup>ふで</sup>竹<sup>たけがえ</sup>笛は、<sup>いっかん</sup>一管と数えます。おうちの中や、学校や、<sup>としょかん</sup>図書館で、目の前にあるものをたくさん数えてみましょう。

### 海に生きる！ウミガメの花子

黒部 ゆみ／写真・文  
奥山 隼一／監修  
偕成社



沖縄の美しい海を泳いでいるのは、アオウミガメの花子です。花子はとても人懐っこく、地域の<sup>ちいき</sup>人たちから愛されています。しかし今、ウミガメは<sup>きき</sup>危機にひんしています。地球温暖化によって砂の温度が高くなると、卵からオスが生まれなくなってしまうのです。海のプラスチックごみが原因で死んでしまう<sup>こたい</sup>個体も<sup>あと</sup>後を絶ちません。

### クーちゃんときんがみちゃん ふたりの春夏秋冬

北川 佳奈／作 くらはし れい／絵  
岩崎書店



板チョコレートのクーちゃんときんがみちゃんはなかなよしです。カカオの町にある、おたがいの家をたずねて楽しく過ごしています。あみものがじょうずでよく気のつくクーちゃんと、何でもさっと出来て、さっぱりしているきんがみちゃん。好みも性格もちがう二人のあいてを思うやりとりがとても優しい<sup>きも</sup>気持ちにさせてくれます。

### 読み継がれてきた名作

#### ちいさいおうち

バージニア・リー・バートン／ぶんとうえ  
石井 桃子／やく  
岩波書店 1998年



むかしむかし、しずかないなかにちいさいおうちがたっていました。ちいさいおうちはおかのうえから、お日さまやお月さまや、きせつによってかわるけしきをみていました。ところがある日、いなかのみちを、じどうしゃがはしってきました。おかはきりくずされ、ひろいどうろができて、いなかはまちへとかわってゆきました。

